

【開催報告】第5回女性技術者ネットワーキングカフェ

公益社団法人自動車技術会 女性技術者の会推進委員会

1. 開催概要

【日 時】2023年10月11日（水）10:00～14:30 秋季大会第1日目

【会 場】自動車技術会秋季大会会場 名古屋国際展示場 431+432 号室

【対 象】会員/非会員 性別問わずどなたでもご参加可能

【参加費】無料

【参加者】22名

【参加者】プログラム

10:00-14:30 会場オープン時間－休憩、参加者・委員との交流を自由にできる時間

11:00-12:00 <第1部>ミニ講演「なりたい自分になりましょう！」+パネルディスカッション

松下 詩穂（日産自動車株式会社）氏 女性技術者の会推進委員会

12:00-13:00 <第2部>意見交換会

3つのテーマ（①育児との両立、②キャリアプラン、③余暇の過ごし方）で自由に意見交換・交流

2. 報告：<第1部>ミニ講演「なりたい自分になりましょう！」+パネルディスカッション

ミニ講演「なりたい自分になりましょう！」

女性技術者の会推進委員会 委員の松下 詩穂（日産自動車株式会社）氏による講演がありました。テーマは「なりたい自分になりましょう！」。松下さんの「なりたい自分」とはズバリ次の3点。①やりたいことができる、②給料が高い、③家族と一緒にいられる。



生まれてから幼少期、高校、大学、修士と振り返り、就職（就職～大学での博士号取得～2度目の就職）してから現在にいたるまで、その3点が自分の中の満足度としてどうだったか、棒グラフにして示していただきました。そのときどきで満足度は上下しつつ、これまでに2度、満足度が高くなかった時期（松下さんはその時期をドクロマーク☠で表現）があり、どのようにして乗り越えてきたかをお話していただきました。①②③を全部望んでも、もちろんできない時期もある。そういう時は「仕事だから」と無理をせず、休憩しながら目指していったらどうか。また困ったことがあったら周りの人や上司に話してみる。私たちはひとりひとりが、心身共に健やかに、やりがいを求めてよい。



(講演を聴いて)「なりたい自分」と現実とのギャップに悩むことは誰にでもあると思いますが、そんなもんだ、といったん受け入れて、今の自分ができること、したいことは何か？シンプルに考えてみることの大切さに気付きました。また松下さんは偶然すれ違った、インターン時代の知り合いとの会話がきっかけで、希望の部署異動をかなえたことをはじめ、周囲の人との会話・つながりも、新しい道へのヒントとなっていたように思います。年齢を重ねるにつれ、公私ともに日々の人との関わりに対して気を取られることもなく過ごしてしまいがちですが、出会いを大切に、困ったことはひとりで抱え込みすぎないことも大事だと思いました。

「なりたい自分」という高い理想をイメージしてしまいがちですが、たとえば松下さんの言われる「自分を認めてもらえると感じる、欲しいものを買える、家族と楽しい時間を過ごせる…」など、日々の大小さまざまなできごとの積み重ねが「なりたい自分」なのではないでしょうか。ちょっとした充足感、心地良さもしっかりキャッチしていくことが「なりたい自分」への第一歩だと思いました。ユーモアたっぷりの、楽しくも学びの多い講演をありがとうございました。(事務局 友野)

パネルディスカッション

松下さんの講演を受けて、松下さんと委員 4 名のパネラーと司会のマツダ鶴山委員の進行によるパネルディスカッションを行いました。聴講者は、男性 5 名、女性 10 名の計 15 名。

まず、松下さんの「なりたい自分」3 項目の**イマイチ期『ドクロマーク☹️』の乗り越え方**について、各委員の育児と仕事の両立の苦労や工夫を語っていただきました。子供が病気の際に両親に頼ったら懐いてしまい、自分の子供でなくなったような感覚になったが、育児も仕事も**頑張る姿を見て子供は理解してくれていたエピソードや、子供に接した後は、仕事の説明も上手になった(子供より役員の方が楽に思えてきた)**等、**子供と共に成長していった経験談**を伺いました。



次に、**育休制度の活用状況**について話題になり、各社制

度も充実し取れてきてはいはいるが、休職中の代替要員/職場のバックアップが課題の声がありました。男性育休取得の事例として、参加者のトヨタ自動車伊藤さんから、奥様の 2 人目の出産後に自ら 6 カ月取得した経験を語っていただきました。ワンオペ育児の大変さ・楽しさを体得でき、経験をイクメンスピーチコンテストで発表し賞を取ったお話や、取得した場合のいなくなった間の仕事の手当てや、上司も復職後は元通りに働けると思っているが現実育児は継続中・・・等、「**男性育休取得に関する悩みのシェアや、『どうしていいかわからない』と皆で考える機運を高めるのが重要**」とお話をいただきました。

マミートラック：「**女性だから」「時短でしょ」「残業しないと昇格なし**」など、**評価されなかった時期の乗り越え方**については、「諦めず続けていたら上司が代わって理解してもらえた」、「時間ではなく成果で評価される部署を探するのもいい」とのコメントがありました。

まとめとして、『**仕事も、育児も、懸命な姿は誰かが見ていると評価してくれる**』『**アウトプットは出し続ける**』『**どうにもならないときは周りに相談する。助けてもらう**。』

「これから世代」の方々に響くメッセージになれば幸いです。(池田委員)

3. 報告：〈第2部〉3つのテーマによる意見交換

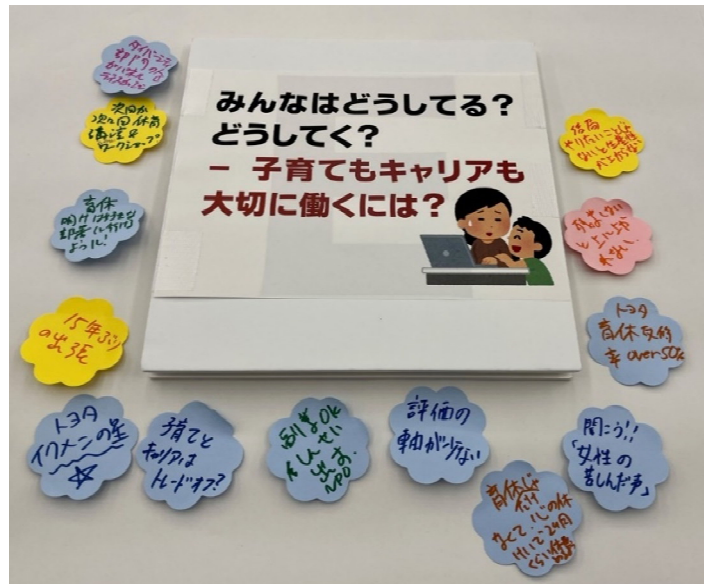
3つのテーマから興味のあるテーマのテーブルに来ていただき、自由に意見交換をしました。テーブルの模造紙には思ったこと、気づきなどを書いた付箋がたくさん貼られていきました。

「みんなはどうしてる？ どうして？ 子育てもキャリアも大切に働くには？」

「子育てとキャリアの両立には、パートナーの理解・協力が一番のキーポイント！」と前回のネットワーキングカフェでも話題になりました。そんな中、今回はなんと厚生労働省「イクメンの星」認定を受けている方も含め複数の男性も参加していただきました。

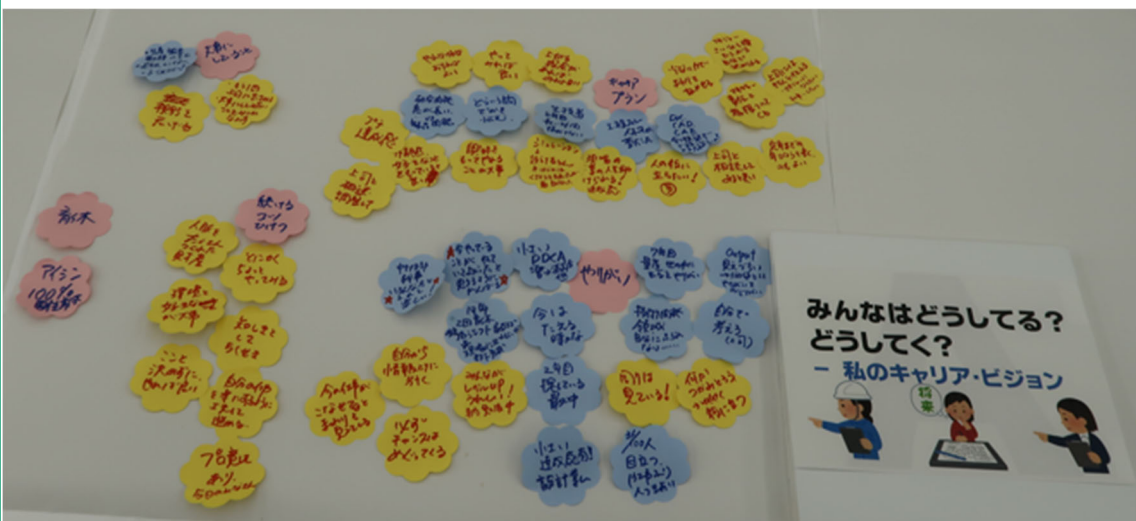
多くの企業が男性の育休制度を整えています。また男性の100%育休取得には遠い状況。どうやったら理想に近づけるか、育休含めた働き方改革について、そして自動車業界全体で後押しするために私たちの声をどうやって届けようか、など次回以降の会のテーマ検討も含めお話できました。

難しい話も、情報交換をしながらわいわいとおしゃべりすればヒントが見つかる、と感じられる時間になりました。（有城委員）



「みんなはどうしてる？ どうして？ - 私のキャリア・ビジョン」

20代から50代の各年代にわたっての参加となり、若手の相談を中堅・ベテランが自身の経験を踏まえたキャリア形成事例で回答する形となりました。



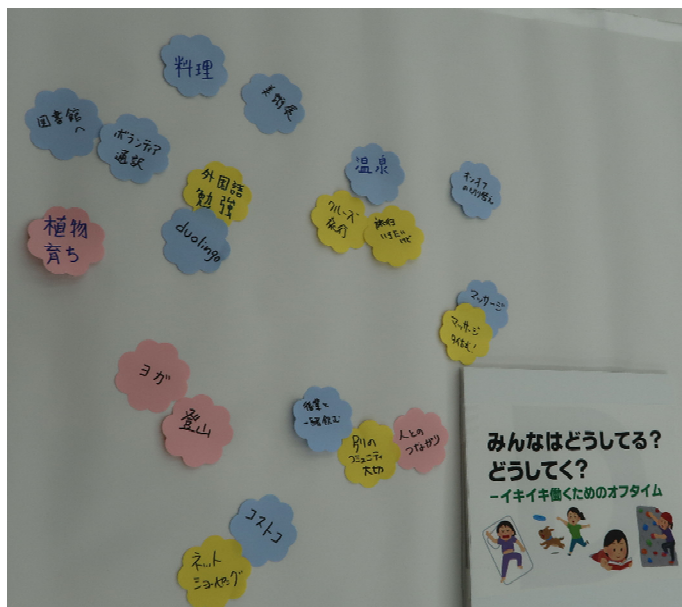
若手からは、「どうやってやりがいを持てばいいの？」「子供を産んでから大きいプロジェクトテーマを担当させてもらえていない状況。今のままでいいの、異動した方がいいの、何をすべきかと考えてしまう」「続けるコツ、秘訣とは？」等、結婚、子育てとの両立を考えたこれからのキャリアについての発言・相談がありました。（次のページに続く）

(続き) 若手の発言を受けて、中堅・ベテランからは、「一つ一つの仕事の積み重ねが自分のキャリアになるので、**今与えられている自分の仕事をしっかりやる。**」「人は必ず見ていて、必ず、チャンスはめぐってくる。」「とにかくちょっとやってみる、挑戦する」「上司に相談してみる」「上司や同僚に自分の考えていること、やりたいことは発信することが大事。また、**自分からも情報を取りに行くと良い**」「**どんな環境下でも何かをつかみとろうとする姿勢が大事。**ゆくゆく繋がり、役に立つ。」「人脈をたくさん作れたことが財産」等の意見、助言がありました。

若手・中堅・ベテランともに話し合い、意見交換する中で、共感しつつ、刺激も受けながら、これからの自分の在り方についてあらためて考える機会になったかと思います。(磯貝委員)

「みんなはどうしてる？ どうして？ーイキイキ働くためのオフタイム」

日々の仕事を続けていく中で貴重なオフタイムの時間をどのように過ごしているか、話し合いました。植物を育てたり、美術鑑賞、旅行、ネットショッピングで癒されたり、Youtube を参考にした時短料理に挑戦したり、自分もやってみようかなと思う事例の紹介がありました。仕事で疲れた時には、ヨガや登山、マッサージ、温泉などが、リラックスに効果的のようです。



また、複数の外国語をアプリで学習したり、翻訳のボランティアに参加したりするなど、**自分磨きだけでなく、他の方の力になる活動をされている**というお話もありました。

会社以外のコミュニティに参加することで、「仕事の悩みも気兼ねなく相談できる仲間ができて、自分が苦しい時に心の支えになった」という経験から、「自分も誰かの支えになれるように、仲間と一緒にnoteでインタビュー記事を掲載する活動を始めた」「大学主催のサロンへ参加し、積極的に交流の場を

広げている」など、**仕事以外での交流が、癒しや、社会貢献、自己研鑽となっているのは、大変興味深いお話でした。**

オンとオフの切り替えの難しさを感じている方からは、どんな工夫をしているのかという問いかけがありました。参加者からは、「オフタイムには仕事を思い出さない」「PC、スマホは見ない」「友達との交流や食事会に集中する」など意見がありました。**海外との仕事や、業務負荷が高いほか、役職によっては、オンオフの切り替えが難しいことがある**ことがわかりました。(石田委員)

3. 最後に一参加者の声を一部ご紹介

(講演+パネルディスカッションについての感想)

共感できるところばかりで、また参考になりました

今とは違って、女性が働きにくかった時代に苦勞されながら両立された話を聞いて、驚きや共感があつた。上司世代の方にぜひ聞いてもらいたいと思った。

自分の会社内のごく一部の範囲のことしか知らなかったので、様々な会社の先輩方の話を聞き、とても参考になった。産休育休後の評価の事もみんな同じ思いを抱えていた、そして会社として取り組まれていると言うことを知り、**自分たちもしっかり取り組んでいこうと前向きに思いました！**

講演者の皆さまの声が勉強になりました。少しだけしか出来なかったと思っても**仕事を進めていけばいつかはいつか目標に辿り着ける、**というお話に特に励まされました。

他社の女性管理職の方の話を聴ける機会は少なく、よい体験だった。

松下さん（講演者）がいきいきとお話されていて、**是非私もあのような姿勢で仕事ができたらと思いました。**パネラーの皆さんのお話もとても参考になりました。

今の悩み、今後直面するであろう悩みについてそれぞれの人の当時の状況・考えを聞くことができ、非常に参考になりパワーにもなった

とても参考になった。**説明がとても上手で人生のストーリーに合わせた学び、気づきがわかりやすく、男性の若い子にも聞いてもらいたい内容でした。メッセージが明確で心に響きました。**

あらためてにはなりますが、一線で働かされている女性のご苦労と視点を知ることが出来、大変ためになりました。

（意見交換会についての感想）

昇格に対する考え方を見直すきっかけをいただきました。



会社は違えど同じような悩みを抱えている人がいることにまず安心した。またキャリアプランを描く中での迷いも相談させてもらったが、**ご自身の経験を交えながら丁寧に回答いただけてとても参考になった。**

テーマは話のきっかけで、自由に雑談できたのがよかった。

本音で話す、質問することができた。置かれた環境も違う中で考え方を聴けて良かった。

普段は関わることのできない女性技術者の方と交流することができよかった

自由に話ができる事で親交が深まりました。テーマが設定してあり会話しやすかったです。おかし、飲み物があるのも良かったです。**雰囲気良くてとても良い場でした。**

ご参加いただきました皆様ありがとうございました。以上